



北消防団  
山田支団原野分団

今藤 清志 さん

## 分団のピンチを救うユニリーダー

執筆者 北消防団山田支団原野分団（前分団長）

藤浦 寛

神戸市北区は、全市の44%を占める面積をもつ地域です。その北区にあり、全市消防団の中で最大の団員数を誇る北消防団山田支団の中に、わが原野分団があります。その原野分団が今回ご紹介するヒーローは、平成18年3月から新分団長に就任された、今藤清志さんです。

私たちのまち山田町は、南は六甲山系、北は帝釈・丹生山系に挟まれた谷筋にある、山田川流域に開けた地域で、「箱木千年家」や「六条八幡宮」など、数多くの文化財や流鏝馬行事などの伝統行事が残る、自然

環境に恵まれたのどかなまちです。

しかし、生活環境は時代とともに変化し、若い方たちは仕事の関係でまちから出て行くため、消防団活動にも若い力が不足してきている現状があります。そんな中で、持ち前の明るさとユニークさを全面に出し、分団の元気の源となっているのが今藤分団長です。

今藤分団長は、平成3年に入団され、原野分団の中では最も献身的に各種消防団活動に参加して頂いた功労者の一人であり、われわれ団員の誇りです。運送業で徹夜の仕事をこなされた後、平気な顔で積載車のポイント検を行い、行事などに参加して地域の安全・安心のために無言で率先垂範している姿は、分団員の協力意欲の糧となっています。

今までの消防団活動の中で一番印象に残っているのは、阪神・淡路大

震災時の活動だ

そう、当時、

ほとんどの防災

関係者がそうで

あったように、

今藤分団長も市

内のあらゆる所

へ出勤し、活動

されていまして、

その中で、自分の無力さをいやとい

うほど実感されたそうです。今後、

あのような悲惨な災害が再び起こら

ないことを祈るとともに、地域住民

の皆さんとコミュニケーションを図

り、地域防災に貢献したいと力強く

語ってくれました。

昭和40年生まれの40歳、独身である分団長。私が女性であれば、花嫁候補に立候補したいぐらいの好青年です。真剣にお付き合い頂ける女性の方を現在募集中ですので、ぜひ一報お待ちしております。今藤分団長の幸せと、分団での更なる活躍を期待しております。

